

支援チームの皆様へ

作成日 20160601

<手順>

1. エントリーシートの記入（再活動の方も記入する）
2. ビブスに名札を付ける
3. ビブス着用の注意（活動時は着用、コンビニ・他の施設は不必要）
4. 宿泊場所、トイレ使用の説明
5. 入浴に関しての説明
6. 施錠についての説明

<活動時の心得>

1. 活動に対する注意点「心得」（別紙①）で説明
2. 本部ミーティング参加・報告：18：00のみ、原則参加する（間に合わない場合は活動本部に17：30までに電話にて活動報告を行う。）
3. 支援チーム活動報告書作成、提出：翌朝までに「メール〇〇」へ提出
4. 連絡義務：
 - ・ 現地出発時と帰着時、終了後に本部に連絡する。
 - ・ 現地からの派遣チームは、現地到着時や現地解散時、宿泊地到着時に連絡する。
 - ・ 現地での合流時も連絡が必要。最終現地修了、本部に戻るまたは、会議等で遅れる場合は必ず本部へ連絡する。
5. プライバシーや個人情報の取り扱いに注意をお願いします。
6. 個人の経験、判断で行動せず、担当部所長の指示による活動をお願いいたします。

その他、ご不明点があれば活動本部（〇〇）へ連絡をお願いします。

※本部からの連絡では個人の携帯電話を使用する場合があります。ご了承ください。

注意点と守っていただきたいこと

- ① 活動や被災者の情報について「SNS」などのインターネット媒体で不適切な発信、個人情報発信しない。自身が所属する医療機関や組織の宣伝活動しない。
- ② 災害対策本部の指示に従って活動してください。くれぐれも単独行動をしないようにお願いします。
- ③ 他の災害医療チームの一員としても活動をしており、今回は〇〇と一体の活動です。
- ④ 被災地の方はリハビリテーションを受けたい方ではないかも知れません。災害時のリハビリテーションは医療機関で行うリハビリテーションとは全く異なることを意識して支援してください。まずはコミュニケーションを取ることから始めてください。そして、避難所生活改善と生活不活発病予防をしてください。「訓練してください。」ではありません。
- ⑤ 活動にかかる費用は、〇〇に事前登録することによって弁済される予定です。領収書は忘れずに貰うようにしてください。(領収書は〇〇で)
- ⑥ 共同宿泊場所では、禁酒、禁煙です。

支援チーム・個人が持っていくもの・要領

<心得>

- ・移動手段（自動車）、燃料まで含めて自立、自活体制
- ・領収書は「〇〇」記載
- ・活動の記録を必ずつけましょう
- ・記録をつけるためのインターネット環境のあるパソコンは必要です
- ・神奈川県地図はあった方が便利です

<避難所介入で必要なもの>

- ・聴診器、血圧計、酸素飽和濃度測定器
- ・握力計、メジャー
- ・工具セット
- ・弾性包帯
- ・ゴミ袋
- ・グローブ、マスク、ペーパータオル、アルコール綿など消毒ができるもの
- ・筆記用具
- ・動きやすい衣類と安全な靴

※ 医師がいる場合は簡単な処置セットがあった方が便利かも知れません。

<現地4日以上宿泊生活に必要なもの>

- ・寝袋等の寝具、マット
- ・衣類、時計、タオル・バスタオル
- ・ティッシュ、トイレットペーパー
- ・歯ブラシ、石鹸等の旅行セット、無水シャンプー
- ・食料、飲料水
- ・チーム内の健康管理用の医薬品
- ・携帯ラジオ

あくまで参考です。これ以外も自活に必要と思われたものは持参してください。

支援の詳細については JRAT ホームページの大規模災害リハマニュアル参考

http://www.jrat.jp/PDF/manual_dsrt.pdf